

摂津市議会

駅前等再開発特別委員会記録

令和7年12月9日

摂津市議会

目 次

駅前等再開発特別委員会

12月9日

会議日時、場所、出席委員、説明のため出席した者、出席した議会事務局職員、 審査案件	1
開会の宣告	2
市長挨拶	
委員会記録署名委員の指名	2
議案第60号所管分の審査	2
質疑（宇都宮美男委員、光好博幸委員、塙本崇委員）	
採決	5
閉会の宣告	5

駅前等再開発特別委員会記録

1. 会議日時

令和7年12月9日（火）午前 9時58分 開会
午前10時18分 閉会

1. 場所

第二委員会室

1. 出席委員

委員長 西谷 知美 副委員長 塚本 崇 委員 宇都宮美男
委員 谷口 治子 委員 光好 博幸

1. 欠席委員

なし

1. 説明のため出席した者

市長 嶋野浩一朗 副市長 山本 和憲
建設部長 永田 享 建設部副理事兼都市計画課長 藤井 芳明
連続立体交差推進課長 西 勝也 連続立体交差推進課参事 松本 公一

1. 出席した議会事務局職員

事務局次長 森口 雅志 事務局次長代理 香山 叔彦

1. 審査案件

議案第60号 令和7年度摂津市一般会計補正予算（第4号）所管分

(午前9時58分 開会)

○西谷知美委員長 ただいまから、駅前等再開発特別委員会を開会します。

理事者から挨拶を受けます。

嶋野市長。

○嶋野市長 おはようございます。

委員の皆様方におかれましては大変にお忙しい中、駅前等再開発特別委員会をお持ちいただきまして誠にありがとうございます。

本日の案件でございますけれども、令和7年度摂津市一般会計補正予算（第4号）所管分の審査でございます。何とぞ慎重審査の上、御可決を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

私はこの場を一旦退席いたしますけれども、在庁しておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

○西谷知美委員長 挨拶が終わりました。

本日の委員会記録署名委員は、宇都宮委員を指名します。

暫時休憩します。

(午前 9時59分 休憩)

(午前10時 再開)

○西谷知美委員長 再開します。

議案第60号所管分の審査を行います。

本件については補足説明を省略し、質疑に入ります。

宇都宮委員。

○宇都宮美男委員 おはようございます。

それでは、まず、8ページの千里丘駅西地区再開発事業になります。繰越明許の件についてお伺いをいたします。

今回、補正予算を組まれて、増額されております。どのような要因が主となったのか、具体的に説明をお願いいたします。

1問目は以上です。

○西谷知美委員長 藤井副理事。

○藤井建設部副理事 千里丘駅西地区再開発事業に関する御質問に答弁申し上げます。

明許繰越しでございます。本予算に関わる工事につきましては、再開発事業において今、整備しております自由通路、いわゆるデッキとJR西日本が所有するJR千里丘駅舎の橋上通路を接続させるために、その接続部分となるJR千里丘駅舎の壁を撤去するものでございます。

そのため、自由通路の工事の工程ですか、もう一方で接続する特定建築者が、現在進められております建築工事の工程等の調整をする必要があります。それらの工事の進捗状況を踏まえた結果、当初は、今年度の2月、3月で予定しておりました工事につきまして、年度明けすぐに着手することで、全ての工事工程が円滑に進むと思われます。また、今、駅前で交通規制の影響がありますけれども、こちらの工程を見直すことで少なくできるため、明許繰越しとさせていただいているものでございます。

駅舎の工事ですので、ある程度、乗降客が多い中での工事というところは、想定して公共の積算基準で積算しておりました。

ただ、増額の要素につきましては、ある程度JR西日本と工事に関する詳細な協議調整を進めてきた中で、JR西日本のほうから、当初想定した以上の作業範囲ですか、作業時間帯等について、かなりの条件が厳しく付されたことから、同制約に関わる工事全般の費用が増加したものでございます。

また、工事全般の費用の中には社会情勢における労務費、物価高騰に伴う増額などもございます。

以上でございます。

○西谷知美委員長 宇都宮委員。
○宇都宮美男委員 千里丘駅西地区再開発事業につきましては理解いたしました。

2回目なんですけれども、当初予算での見通しと、今回、繰越明許に至った経緯としまして物価高騰があるということで、来年度も同じようなことがないのかどうか、想定を含んで予算を組んでいるのかお聞かせ願えますでしょうか。

○西谷知美委員長 藤井副理事。
○藤井建設部副理事 物価高騰につきましては、今回、繰越しというところで、次年度の工事に予定しており、その分を見込んで計上させていただいております。
○西谷知美委員長 宇都宮委員。
○宇都宮美男委員 ありがとうございます。

繰越明許ということを市民の方が知った場合、工期が遅れるんじゃないかと心配される方もいらっしゃると思います。工期への影響等あれば教えていただけますでしょうか。

○西谷知美委員長 藤井副理事。
○藤井建設部副理事 今回の繰越しにつきましては、全体のスケジュールが遅延するというものではございません。周辺のふくそうする工事も含めた工事全体が円滑に進むように本工事の時期を調整し、工程の手順等を見直したことによるもので、事業全体のスケジュールに影響はございません。以上でございます。

○西谷知美委員長 宇都宮委員。
○宇都宮美男委員 ありがとうございます、理解いたしました。

最後に要望とさせていただきます。現在、千里丘駅周辺の開発と併せて交差点の拡幅工事を、吹田市のはうでも行っていると思います。作業車がたくさん入ってきて渋

滞も懸念されます。その点、警察やほかの関係団体とも連携していただき、こちらから歩車分離式の信号機になるよう働きかけるなど、渋滞の緩和に努めていただきたい。また、住民の方が事故に遭わないよう、渋滞緩和や何かしらの手立てをしていただきたい。昨日も、青森県東方沖で地震が起きました。そういう地震対策についても、どういうときにどういうことがあれば倒れずに工事現場が安全に保たれるのかなどを想定した上で、しっかりと事業を進めなければと思いますのでよろしくお願ひいたします。

○西谷知美委員長 光好委員。
○光好博幸委員 私からは要望にまとめさせてもらいます。

今の宇都宮委員の説明で、42ページの再開発事業費、あるいは千里丘駅西地区再開発事業の繰越明許についての意見、要望でございます。

先ほどの宇都宮委員の質問で、繰越明許になった理由であったり増額になった理由は大体理解しました。

ただ、42ページで、1,667万1,000円が増額で、繰越明許を見ると2,467万1,000円ということは、もともとの予算が800万円だと思うんです。800万円から約1,600万円増額と考えた場合に、普通、工事所管課の予算管理ではあり得ないんじゃないかなと思ってています。

例えば、800万円が1,000万円になりましたとか、1,200万円になりましたというなら分かりますけど、300%への増額というのは、一般企業から考えてもあり得ないです。ちょっと厳しいことを言いますと、算出が甘いと言わざるを得んのちやうかと私は思いました。

もともとの算出基準はあると思いますけれども、この大きな工事全体の中での約1,600万円は微々たるもんかもしれませんけれども、今、財政難と言われている中です。来年度の予算を立てるときに、いろいろ耳にすることは5万円、10万円でも削ろうとしている。そんな中で、これは重く受け止めるべきちゃうかと思います。

全体として、千里丘駅西地区再開発の工事は、大きい工事やと思います。そこを細かく見ろということではなく、新しくやるところと、既存のところとの接合部です。あるいはJR西日本が言うようにいろいろ乗降客がある中の工事で条件が厳しくなったのは、想定ができると思うんです。利用者の安全とかを考えたときに、もともと条件を出されていたとしても、その趣旨から考えたときに、乗降客あるいは利用者の安全が担保できへんって思ったら、より詳細に見るとか、通り一遍とは言いませんけども、算出基準のとおりではなくて、もう一步踏み込んで、もうちょっと安全対策をしっかりとおいたらいいんちゃうかという気づきになると思うんです。

そういういた項目というのは、全体を見たときに、既存との取り合いとか状況下の安全管理とかを見ると何個かポイントって絶対出てくると思うので、そういういた工事管理の中でのポイントをしっかりと見て、ばくっと大きく管理するところは管理する、任せるところは任せる。

例えば取り合いになる部分はこことここというところはしっかりと細かいところまで見て、管理していくということをぜひ教訓にしてほしいです。これから千里丘駅西地区の再開発のみならず、ほかの工事でもいろいろ出てくると思いますので、そういういた目で見ていただいて、何回も言い

ますけど、予算管理もそうですし、利用者の安全・安心も含めて、しっかりと次につなげていただきたいと思います。

以上でございます。

○西谷知美委員長 塚本副委員長。

○塚本崇委員 私から2点、お聞かせください。

1点目は8ページ、繰越明許費の補正です。恐らく工程的に外側から切って接続部を開けるというような高所作業になるかと想定しています。その後、自由通路の接続部を開けた後、風の対策です。結局、そこは、バリアフリーのエレベーターがすぐ近くにあるもんですから、結構風が通るとあおられる可能性もあることも想定して、風対策を今どうお考えかお聞かせください。

2点目は、阪急京都線連続立体交差のところで、先日、阪急摂津市駅のガード下の交通量調査をやっているのを見かけました。連続立体交差としては駅舎を上げた後に、今ガード下のトンネルが多分1.7メートルぐらいの高さだと思うんですけど、あれについて、今どういう最終形をイメージしているのか、お聞かせください。

以上です。

○西谷知美委員長 藤井副理事。

○藤井建設部副理事 それでは、千里丘駅西地区再開発事業に関する御質問に答弁申し上げます。

開口部の壁を開けた後の風対策でございます。将来的にはデッキでつながりますので、常に開口という形になってこようかと思います。

ただ、今回につきましては、1回開けてもその上部口でデッキにつながるまでは仮壁を設置しますんで、取りあえず風の影響はないと考えております。

以上でございます。

○西谷知美委員長 西課長。

○西連続立体交差推進課長 ガード下についてですが、今のところ、最終的には高架になりますので、これから阪急電鉄のほうで詳細設計等を進めていかれると思います。現段階でその構想がどうなるかという具体的なところまでは、我々も把握しておりません。今後、阪急電鉄の設計が進んでいきましたら注視していきたいと思います。しかしながら基本的には高架になりましたら踏切が除却されて、その辺も一定フラットな形になるとは思うんです。からの設計状況とかを踏まえまして、また確認させていただきたいと思います。

以上でございます。

○西谷知美委員長 塚本副委員長。

○塚本崇委員 では、要望にしますけども、千里丘駅西地区の再開発工事に当たっては、皆さんが懸念されているように、ふくそうするところ、特に今回の工事に関しては、エレベーター前ということござります。そこについては高齢者や車椅子の方が通られるということを想定して、しっかりと対策を打っていただきたいと思います。

阪急京都線連続立体交差についてはまた説明会もありますし、またその辺も踏まえて、今後、私も注意して見ていきたいと思います。

○西谷知美委員長 以上で、質疑を終わります。

(午前10時16分 休憩)

(午前10時17分 再開)

○西谷知美委員長 再開します。

討論に入ります。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○西谷知美委員長 討論なしと認め、採決します。

議案第60号所管分について、可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手する者あり)

○西谷知美委員長 全員賛成、よって、本件は可決すべきものと決定しました。

これで、本委員会を閉会します。

(午前10時18分 閉会)

摂津市議会委員会条例第29条第1項の規定により、署名する。

駅前等再開発特別委員長 西谷知美

駅前等再開発特別委員 宇都宮美男